

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	都市型ホテル（支配人）	・宿泊、料飲部門共に、年内は高稼働で受注できている。
	◎	旅行代理店（経営者）	・今まで停止していた行事や忘年会等も復活の兆しがある。
（北関東）	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・酷暑にもかかわらず、8月の販売量は前年より若干良い状況である。2～3か月先は天候も安定する季節なので、酷暑で外出を控えた顧客層の外出が増えると予想される。また、8月の来店客の購買状況をみていると、友人や職場等、知り合いへの土産を購入する人が多いため、先の景気はやや良くなる。
	○	スーパー（総務担当）	・現状の推移でいけば、まだまだ良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・前月より客は多い。お盆時期や台風接近にもかかわらず月末も調子が良く、来客数が増加している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・台風等の天候次第だが、観光やビジネスの利用客は見込める。引き続き堅調な食料品を基礎に、ギフト商材の販売が期待できるのではないかと。
	○	コンビニ（店長）	・最低賃金上がるため、買上点数や単価も上がってくるとみており、やや良くなる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・問合せでは団体客も増加傾向で、順調にいけば上向きになるとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・涼しくなって米の供給も安定してくれば、安心感も出て多少は動くのではないかと。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・当社が取り扱う商材にも関係するが、夏場に値上げを実施し、新価格が定着しつつある。寒い季節は売上が伸びるため、例年同様ならばやや良くなる。
	○	旅行代理店（所長）	・秋の紅葉を目的とする来訪者数増加に期待したい。今後の台風の襲来が、紅葉の良しあしに影響するところではある。
	○	旅行代理店（従業員）	・単価は上がっているため、全体的な需要の取り込みが増えれば良くなる。
	○	タクシー（経営者）	・暑さが遠のけば人の動きも良くなる。
	○	通信会社（総務担当）	・例年の来客傾向どおりなら、この先は毎月の平均よりも増加する見通しである。
	□	商店街（代表者）	・今年の夏は猛暑日が続く大変苦労していたので、気温が下がって過ごしやすくなる秋のレジャーへの関心が高まっている。しかし、物価の上昇が続けば、先行きは懸念される。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・新米が出回ってくれば米の騒動も落ち着いてくるのではないかと。副菜の生鮮食品は値下がりが見込みはない。光熱費等の政府による補助金があるのは有り難い。回復の兆しはまだみえない。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・しばらくは現状維持ではないかと。
	□	百貨店（営業担当）	・外出機会の拡大に伴う関連商材の動きは期待できるものの、円安傾向、物価高であることに変わりはなく、生活防衛意識は依然高い状態が続くとみている。
	□	百貨店（営業担当）	・値上げや天候により生産量や納品量は変化すると思うが、今のところ、客のモチベーションが大きく変わる要因について、日々の現場からの情報はない。引き続き堅調な推移をするとみている。
□	百貨店（店長）	・この先も同様の傾向で推移する。	
□	コンビニ（店長）	・特に変化があるとは考えられない。	
□	衣料品専門店（販売担当）	・これから婦人服は秋物がスタートするが、長期予報で相当に暑い日が続くという話もある。変わる可能性もあるが、自然に涼しくなってくれば、客も秋物を求めて出てくる可能性はある。ただし、残念ながら良くなる確たる要素が見当たらないため、ずっと変わらず、悪さだけが続いていくのではないかと。	
□	家電量販店（店員）	・商品値上げが継続しているため、単価が押し上がると予想する。	
□	家電量販店（営業担当）	・夏物商材の動きが悪く、消化し切れない状況である。前年比では季節商材は85%、白物家電90%、黒物家電が88%と全体でも92%で推移している。	

□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産は正常に機能しており、円高傾向の兆しとはいうものの、輸出は安定している。まだ想定範囲内だとみられる。
□	自動車備品販売店（経営者）	・当店の顧客は比較的高齢者が多い。将来の不安があるため、高齢者は安心してお金を使えないという話を聞いており、実際のお金の使い方でも十分に感じられる。その辺りの信頼性や安心感があれば、景気は大きく良い方向にいくだろうが、今のところ、良くも悪くもなる材料が余りない。
□	住関連専門店（店長）	・来客数は横ばいで、値上げトレンドは依然としてあるため、景気が上向く要因はない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・来客数減少を単価上昇で補ってきたが、単価の上昇も一段落し、マイナス要因だけが残っている。
□	その他専門店（総務担当）	・客からの問合せが少ない状況は変わらない。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・特段大きな材料が見当たらないため、現状維持と予測する。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・8月は企業や団体の動きが余り期待できない上に、新型コロナウイルス感染症の再流行や猛暑が重なり、レストランや料飲部門の伸びが非常に鈍い。あわせて、宴会売上も前年は新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響で、ある程度の売上を確保できていたが、今年は個人的な集まりの宴席も少ない印象を受けている。宿泊だけはビジネスとプライベート利用がうまく確保できて、堅調な売上を出している。
□	旅行代理店（営業担当）	・物価上昇もあり、補助金等の話題もないため、前年と変わらない動きと予想している。
□	通信会社（経営者）	・円安が止まったことで先行き不安がやや薄れた感はある。今のところ、仕入コストが下がってきているとはいえない。当地では繁華街に新しい店舗ができて、ほとんど1年ほどで閉店してしまう。厳しい状況は何も変わらない。
□	通信会社（社員）	・2～3か月先では、変わらない。
□	通信会社（営業担当）	・ウクライナや中東情勢の状況悪化により、物価、光熱費、石油価格等への影響が改善しない限り物価高は続くため、改善には至らない。
□	テーマパーク（職員）	・秋の行楽シーズンも夏同様の期待をするが、台風や残暑等の外部要因の影響が懸念されるため、現状維持とみている。
□	ゴルフ場（従業員）	・予約状況は前年と比べてプラスの進捗ではある。これからトップシーズンになるため期待したい。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・現状では一旦落ち着いているものの、改善の兆しはみられない。
□	設計事務所（所長）	・今後の政権政党総裁選挙の結果にもより、経済政策がどのようになっていくのか分からないが、景気上昇を願っている。
□	住宅販売会社（経営者）	・住宅ローン等の金利が上昇し、マスコミ等でいろいろと騒がれると駆け込み需要があるかもしれないが、なかなか動きを誘発する要因が少なく、現状維持の状態が少し続くとみている。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・必要に迫られた内容の修繕やリフォーム案件が多い。また、コスト重視の様子に変わりはなく、今後も同様の状況が続くとみている。
▲	百貨店（店長）	・今の状況が落ち着けば元に戻る印象を受けるものの、余り楽観はしない方がよいのではないかと感じている。
▲	スーパー（商品部担当）	・近隣商圏内にドラッグストアの新規オープンが控えていることや食材や食品の値上げが止まらず、ますます厳しい状況になる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・受注が減少し、受注残も減少傾向のため、登録台数も減少傾向になっている。
▲	一般レストラン（経営者）	・夏の異常気象の影響が出るのではないかと。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・給食に必須の米が品薄で、量を確保するためには、単価の大幅値上げが前提となる。人件費も最低賃金が50円上がる影響は大きく、当面収支が圧迫される状況が続くものとみられる。
▲	観光型ホテル（経営者）	・インバウンドは横ばいで推移するかもしれないが、国内旅行需要は上向かない。

	▲	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症第11波の影響がある。
	▲	タクシー運転手	・地方の景気は悪く、昼夜問わず街を歩いている人がいない。
	▲	通信会社（局長）	・現状の値上げには慣れを感じ始めているものの、今後の更なる値上げには、購買意欲が下がり節約意識が高くなると考える。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・今後も商材価格の上昇により、厳しくなる。
	▲	美容室（経営者）	・物価高に加え、公共料金の値上げが経営を圧迫している。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・地方では賃上げは夢物語のようになっており、これでは景気が上向くわけがない。販売に関してもこれ以上良くなることは見込めない。
	×	コンビニ（経営者）	・コンビニ業界は夏場の売上が高いため、この先は悪くなる。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今年の夏は暑かったが、これからは涼しくなるため商材が動くようになる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・在庫調整のため1年ほど低迷していたロボット関連の仕事が、徐々に戻ってくる見込みである。
	○	金融業（営業担当）	・金利のある世界への移行に伴い、景気は上振れする。
	○	経営コンサルタント	・農産物の収穫期を迎え、行楽シーズンにも当たるため、関連の季節需要に期待を持てる。地域企業では秋以降の季節需要や小さな型式変更等に伴う需要が顕在化する兆しもあり、受注や生産等の業績回復が多少見込める。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・危機的猛暑のなか、熱中症に注意しながら稼働している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・景気回復につながるような話題も見当たらず、円安が続く限り景気は上向きにならないとみている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・今が底で、上がっていくような感じはみられない。このまま低空飛行が続くのではないか。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ここ2～3か月は、取引先に受注価格等を上げてもらって、若干良くなったものの、2～3か月先はまるで様子が分からず不透明である。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等もいまだ続いているため、変わらない。
	□	輸送業（営業担当）	・残暑が続いており、本来の秋冬商材が動き出す時期だが、寝具、エアコン、こたつ、ヒーター等の輸送が少し出遅れている。しかしその分、飲料水やお茶等の輸送量が順調で、前年並みの物量は確保できそうである。ただし、ドライバーの労働時間規制により、関西や遠方への車両確保が厳しく、割高にもなっており、利益は薄くなりそうである。
	□	不動産業（管理担当）	・今後も請負金額の引上げを予定しているため、増収見込みではあるが、最低賃金の引上げも予定されており、人件費は増加予定のため、利益はさほど上がらない。
	□	司法書士	・当事務所としては十分な仕事量で、1年以上推移している。ただし、今後これ以上に良くなるということは多分ないのではないか。
	□	社会保険労務士	・現状と変わらないと思うが、政権政党の新総裁が明るい未来像を描いてくれれば、変わるかもしれない。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・商談件数、受注件数共に特段の変化はみられず、順調に推移している。
	▲	化学工業（管理担当）	・受注件数及び受注量が減少している。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・受注見通しの鈍化で、やや悪くなる。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産が安定せず、先の見通しが立たない状況が続いている。物価が上昇しているものの、賃金がなかなか上がらないため、自動車等の高価な物を買ひ控える傾向があり、生産しても売れない。悪循環が続いている。
	▲	建設業（総務担当）	・仕事量もなく、厳しい状況が続きそうである。
×	電気機械器具製造業（経営者）	・中国の不動産景気が悪化していることや家電の売行きが悪く、景気は悪化している。	
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—

(北関東)	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・仕事柄、ホテル、物販、物産等、納入業者といった観光関係の方と接することが多い。来月後半にはまた紅葉の時期となり、かなり観光客が来る。ホテルの稼働率も横ばいか前年よりは高くなっているとのことである。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・専門スキルが不要なポジションは、顧客先の自社採用ですぐに充足できる。専門性を必要とするポジションは、人材会社を活用しても採用要件を満たす人材の応募が不足している。しかし、採用基準を下げてまで採用するほどの切迫感はない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	・派遣の増員と減員の予定があるものの、トータルでは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・主要産業の新規求人数の前年同月比について、医療や福祉、卸、小売、サービス業については増減を繰り返しているが、建設業は減少傾向が続いている。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・特に景気が大きく変わる要因が見当たらない。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・今年はかなり猛暑ということや台風等も多く、農作物、米、果実といった作物を作っているところで天候不良等による不作が見受けられる。依然として、生産面では生産調整もあったり、輸出関連は良いものの、内需に向けての自動車関連、電気、電子、住宅資材の一部には、改良等の製品も出てきている。
	×	—	—